



国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

# 情報処理センター一年報

## 2023

2024年10月

京都教育大学情報処理センター

# 目 次

はじめに 情報処理センター長 多田 知正

## 2023 年度情報処理センター利用結果

2023 年度 利用 状 況	1
情報処理センター利用授業時間割表、2023 年度集中講義など	7
2023 年度 IPC NEWS の発行 状 況	10
2023 年度 行 事 日 誌	12
情報処理センター関連委員会等歴代委員	14
編 集 後 記	15

## はじめに

情報処理センター長 多田 知正

最近ニュースになったニコニコ動画を運営するドワンゴに対するランサムウェア攻撃は、近年のサイバー攻撃の恐ろしさを改めて思い知らされる事件となりました。

ニコニコ動画をはじめとするサービスが、長期間にわたって停止してしまいましたが、これは、ドワンゴのデータセンターにある仮想マシンがサイバー攻撃により使用不能になったことが原因だとのことです。仮想マシンというのは、本来ハードウェアであるコンピュータをまるごとソフトウェアで作ってしまうことにより、1台のコンピュータで多くの仮想的な「コンピュータ」を動かすことができるというもので、現在のクラウドを支える基盤技術の一つです。仮想マシンは実際にはいくつかのファイルの集まりなので、もし仮想マシンの動作がおかしくなっても、ファイルを置き換えるだけで簡単に復旧できるというメリットがあります。この度の攻撃では、この仮想マシンを構成するファイルがランサムウェアによって片っ端から暗号化されてしまったために、仮想マシンを動かすことができなくなり、サービスが止まってしまったということのようです。もちろん障害等に備えてバックアップをはじめとする対策は取られていたのですが、結果的に長期間のサービス停止につながってしまいました。ランサムウェアというと、データを破壊するものというイメージがありますが、サーバの仮想化が進んだ現在ではデータだけでなくサーバそのものを破壊することもできるのだと思い知らされました。本学もデータセンターで仮想マシンを多数運用していますが、もし同様の攻撃を受けていたらひとたまりもなかったと思われます。

一方で、データそのものについては、パブリッククラウド上に保存されていたため、消失などの被害については免れたとのことでした。本学でも遅ればせながら Google Workspace や Microsoft 365 などのパブリッククラウドの利用が進んで来ていますが、今回の件で、パブリッククラウドの「強固さ」について改めて示されたように思います。データの保存先としてのパブリッククラウドの重要性が今後ますます高まってくるとは思われますが、一方で、世界中どこからでもアクセスできるパブリッククラウドにおいては、なりすましによる情報漏洩のリスクを無視することはできません。二要素認証を設定するのはもちろん、クラウドにおけるセキュリティの「最後の砦」としての認証の重要性について、私たち一人ひとりがきちんと自覚することが必要なのだと思います。

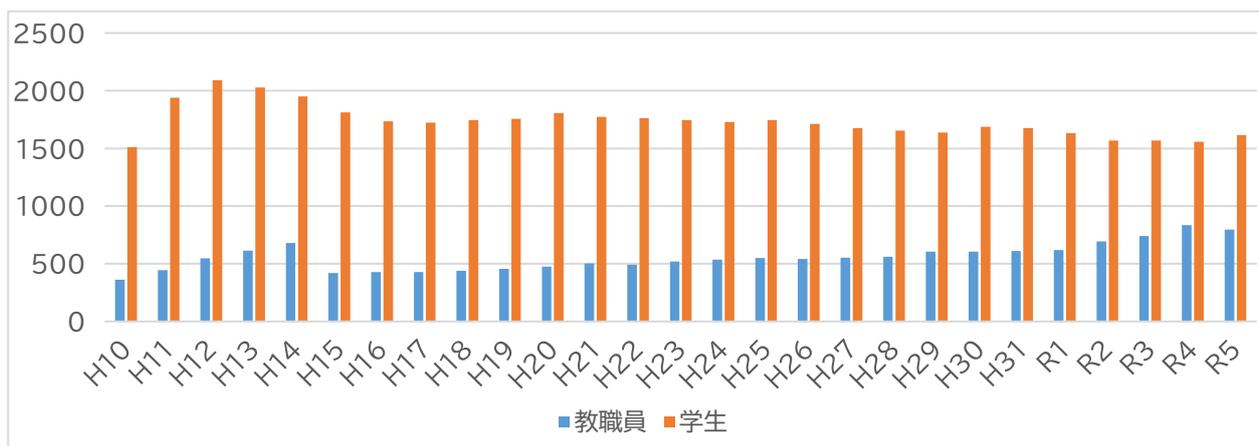
2023年度  
情報処理センター  
利用結果

# 2023 年度利用状況

## §1. 電子メール

(1) 電子メール登録者数(人)(2024.3.31 現在)

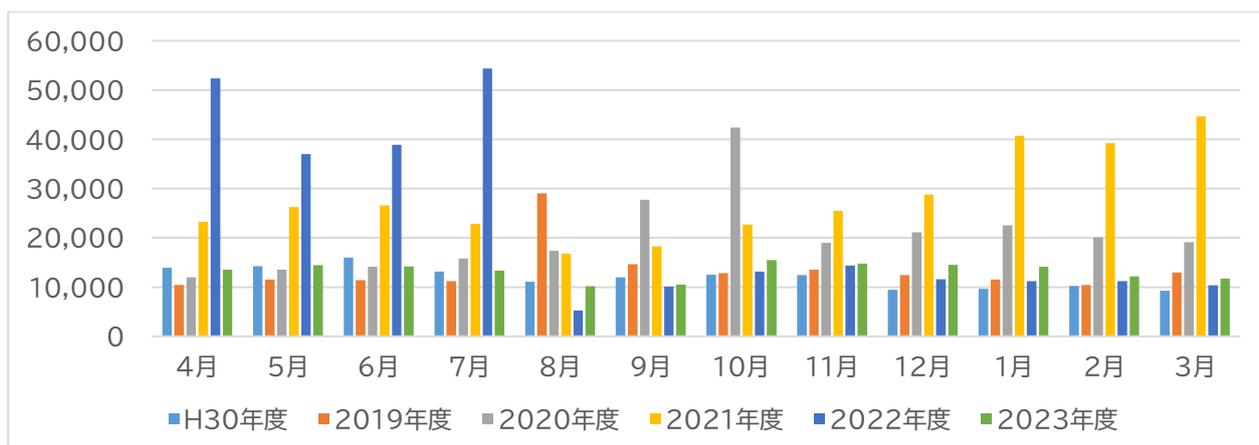
大学教員	附属教員	事務職員	学部学生	院生	特専生	研究生・非正規生	名誉教授等	合計
284	267	188	1,323	158	15	120	58	2,413



平成 12 年度より学部改組に伴い学生定員が 1 学年 420 人から 300 人に減少し、その結果学生登録者数も減少したが 15 年度以降は大きく変化していない。教職員数はここ数年微増の傾向にある。学部生・院生・特専生は入学時に自動登録され、全学生が登録している。教職員も平成 17 年度から着任時に大学から付与する形をとっている。教職員は大学教員、附属教員、事務職員その他名誉教授も含まれる。

(2) 電子メール送受信数(件/日)(2023.4-2024.3)

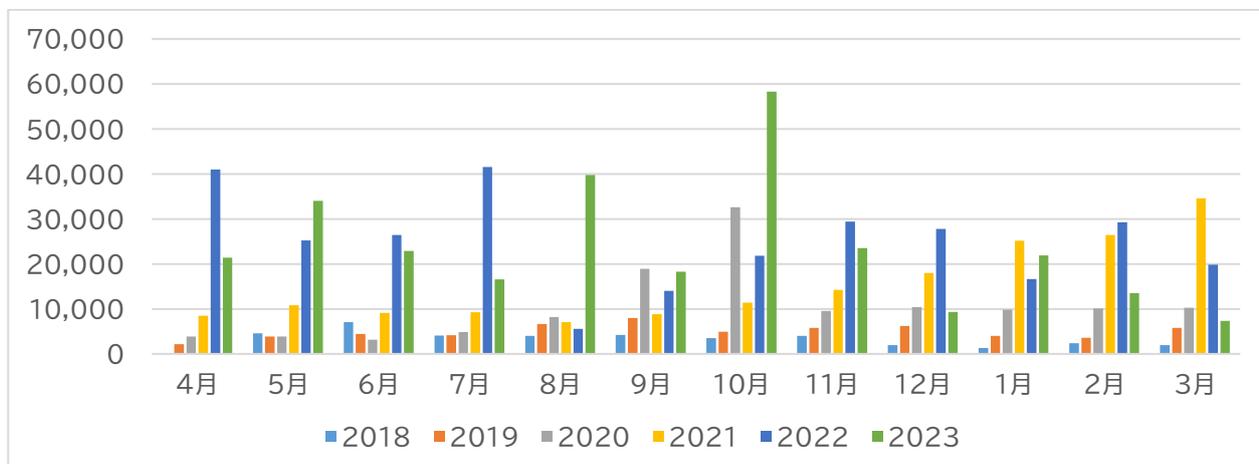
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13,548	14,424	14,212	13,324	10,169	10,493	15,472	14,752	14,533	14,102	12,174	11,711



1 日あたりのメール送受信数を示す。2019 年度 8 月の送受信数が他の月に比べて大きく増加しているが、システム不具合によるものである。2020 年度は新型コロナウイルスに関する連絡等によりメール送信数が例年に比べて増加している。2021 年度は全体的に増加傾向にあり、2022 年 1 月以降は例年の倍近くになっている。2022 年 8 月にシステム更新を行い、集計方法の変更を行ったため、2022 年 7 月以前と 2022 年 8 月以降では件数に大幅な差が出ている。

(3) メール受信拒否数(件/日)(2023.4-2024.3)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21,401	34,006	22,862	16,606	39,799	18,289	58,296	23,496	9,312	21,898	13,516	7,358



1日あたりのメール受信拒否数を示す。ブラックリストに登録されたIPアドレスからの送信やメール本文にブラックリストに登録されたURLが記載されている、送信元ドメインが信頼できない、SPFチェックに失敗した、などの理由により受信そのものを拒否することでスパムメールやウィルスメールの受信を抑制している。統計を取り始めた2018年以降、年々増加している。2022年8月のシステム更新時に不具合があり、8,9月については減少している。

(4) メールサーバ利用者用ディスク使用量(2024.3.31現在)

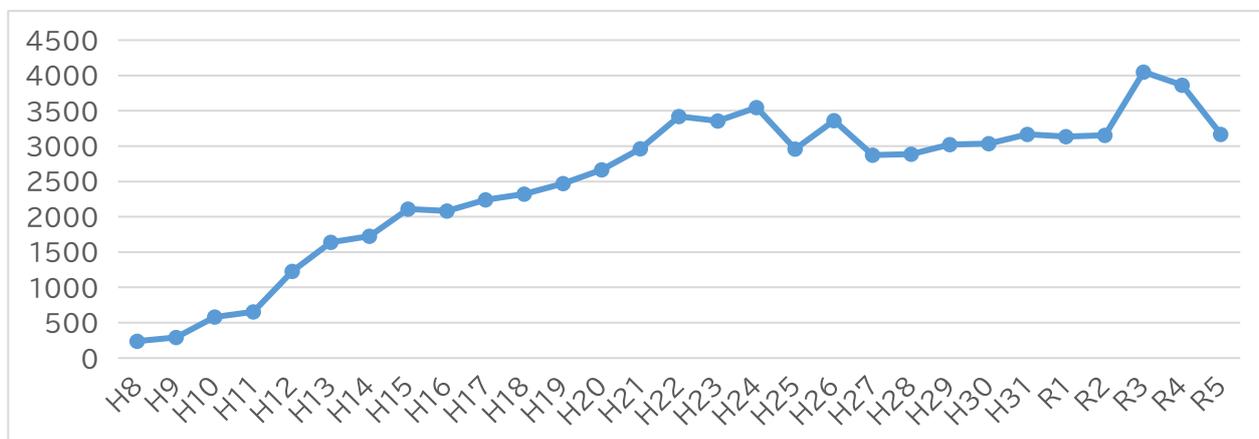
利用者領域(/zimbra) 総容量 3.0TB 使用率 84.8%

§2. ネットワーク

(1) 学内ネットワーク接続クライアント数(2024.3.31現在)

研究室等	797	教室・大学会館等	120	桃山小	153	特別支援学校	65
IPC	531	各センター	39	桃山中	118		
ネットワーク機器	599	第二学舎	8	京小中	186		
事務局	381	幼稚園	32	高校	137		

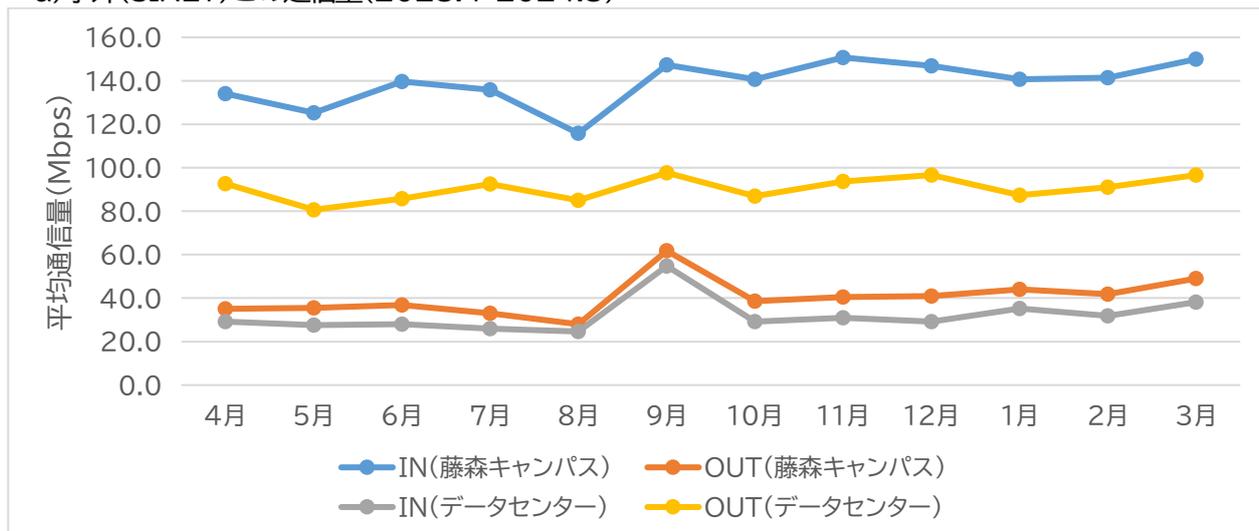
総計 3,166



平成 27 年度より、一部の建物を除いた藤森キャンパス内では、認証ネットワークへと移行した。平成 29 年 1 月をもって旧方式の無線 LAN を廃止し、教職員向けは認証 LAN と統合、学生向けは別のインターネット回線直結として学内から分離した。学内から分離した無線 LAN のクライアント数は含まれていない。現在学内すべての研究室・講義室・演習室・事務室に情報コンセントが敷設されている。平成 26 年 2 月には学内基幹部を 10Gbps で接続し、末端部まで 1Gbps で接続できるようにした。令和 3 年 3 月に GIGA スクール構想により、各附属学校園と大学を結ぶ回線を 1Gbps に、大学と SINET を結ぶ回線を 10Gbps にそれぞれ増強した。また、令和 3 年度に認証ネットワーク登録端末管理システムを更新し、管理されていなかった端末の登録を行い、令和 5 年度には旧システムから移行された端末の現存が確認できなかった登録データを整理した。

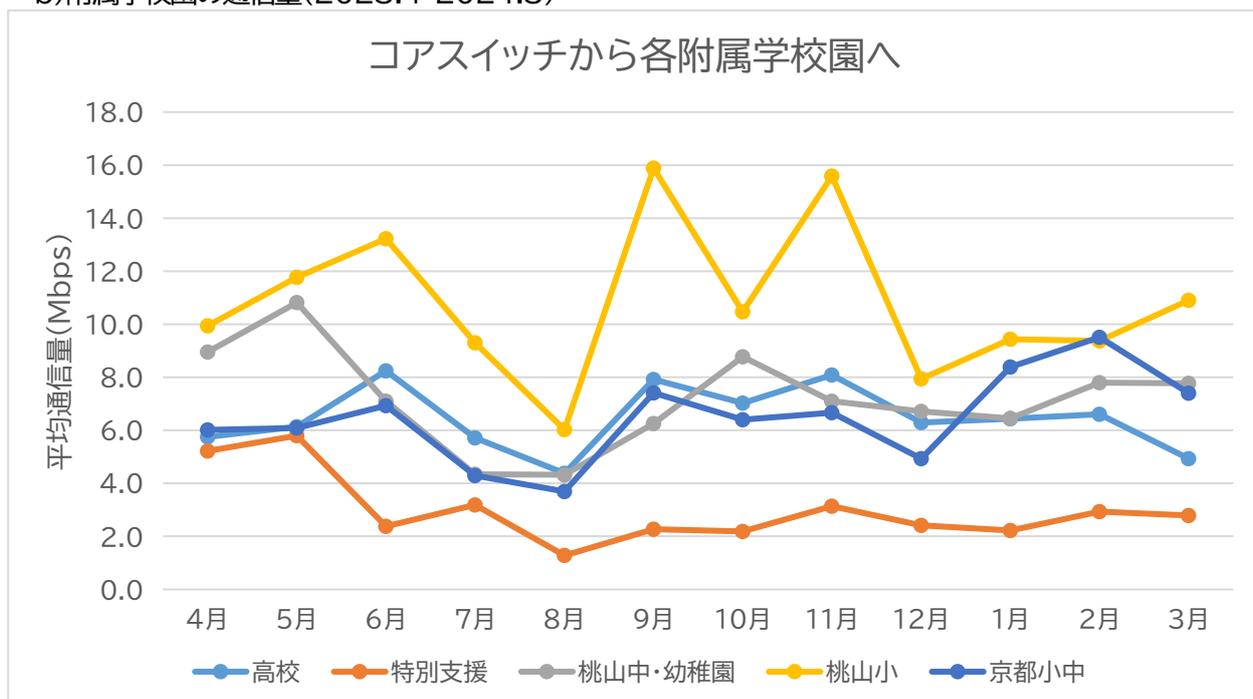
## (2) トラフィック状況

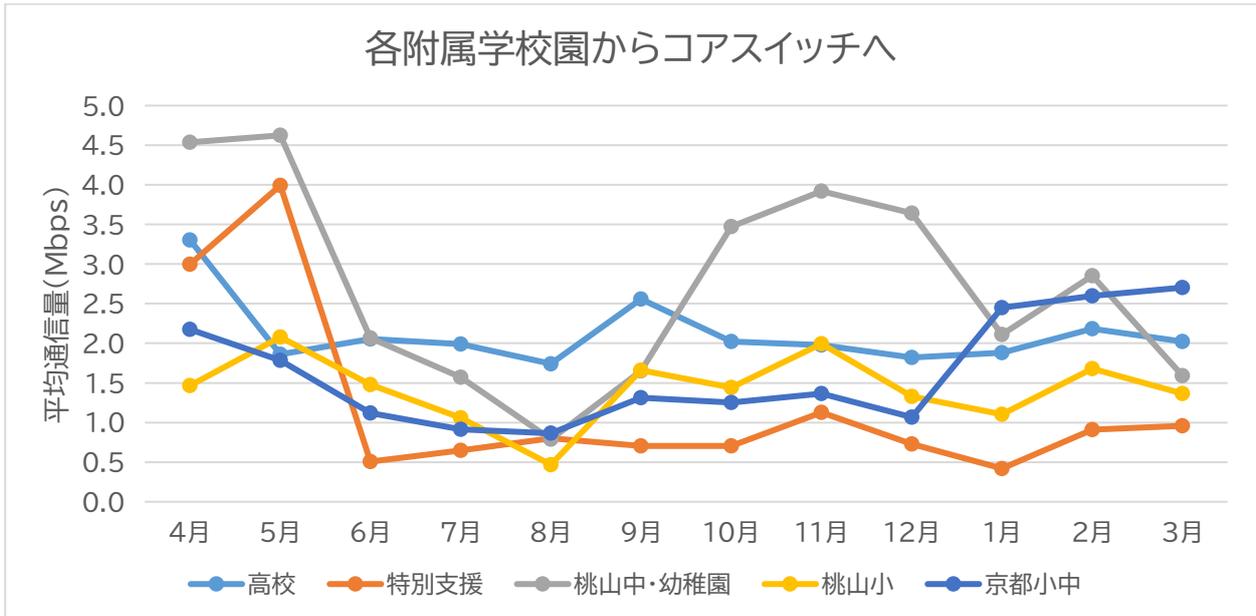
### a) 学外(SINET)との通信量(2023.4-2024.3)



グラフは 1 カ月の平均通信量を月ごとに示したものである。本学のネットワークは平成 22 年 3 月より SINET へ 1Gbps で接続されている。2021 年 3 月より藤森キャンパスのみ 10Gbps に切り替えを行った。2022 年 8 月のシステム更新によりデータセンターも 10Gbps に切り替えを行った。

### b) 附属学校園の通信量(2023.4-2024.3)



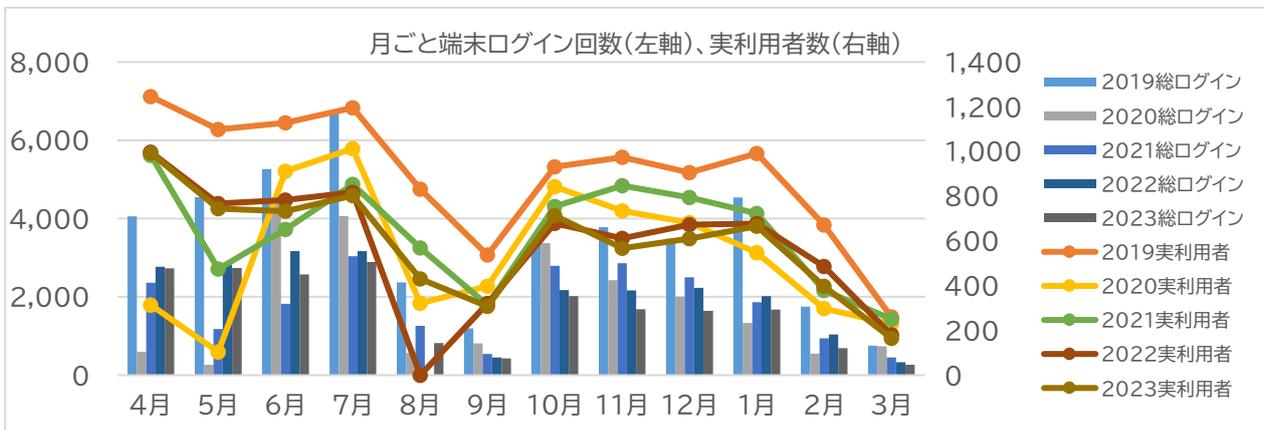


グラフは基幹コアスイッチと各附属学校園との1カ月の平均通信量を月ごとに示したものである。2021年3月より大学と附属学校間の回線を1Gbpsの専用線に変更した。

### §3. 端末室利用

(1) 端末室パソコン利用者数 総ログイン数(実利用者数)(2023.4-2024.3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総ログイン数	2,730	2,739	2,576	2,891	820	429	2,018	1,687	1,642	1,680	686	263
実利用者数	993	744	733	803	431	307	713	567	610	666	398	165

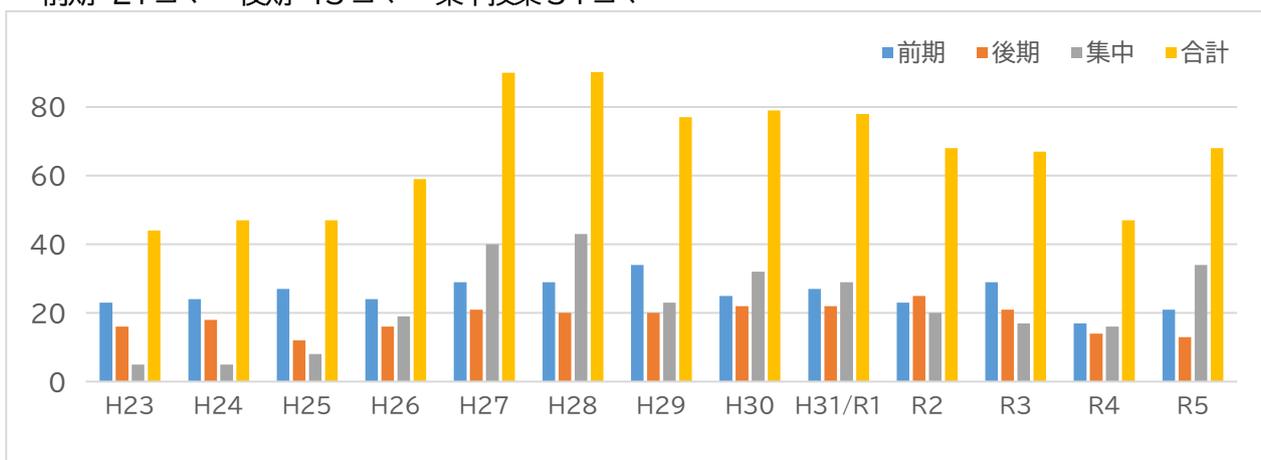


総ログイン数は毎月の利用延べ人数を指し、実利用者数が重複のない利用人数を表す。2020年度は緊急事態宣言に伴う休講の影響で利用者数が大幅に減少した。2021年度は2020年度に比べると増加はしたものの、2019年度以前に比べると3割近く減っている。2022年8月はシステム更新により集計ができておらず、9月は更新後のテストを兼ねた仮開館を行ったため利用者数は少ない。

近年、利用者・総ログイン数ともに減少傾向にある。平成29年度年報のパソコン利用状況アンケートの集計結果において、自分専用のパソコンを持っている人が90%近く居た。大学への持ち込みという観点でも週5日以上が15%、2日以上なら34%ある。また、新型コロナウイルスに伴い全学生に行った調査によると、自宅にネットワーク環境がある学生は95%にもものぼる(回答率約65%)。以上のことから、端末室の需要が減っていることが推測される。

(2) 端末室授業利用コマ数(2023 年度)

前期 21コマ 後期 13コマ 集中授業 34コマ



授業利用は一時減少していたが近年は再び増加傾向にある。前期に片寄る傾向があるのは情報基礎科目(情報機器の操作など)を入学後早い時期に履修させるという措置の結果である。

§ 4. 貸出機器利用数

(1) 館外貸出

端末室以外での授業利用として、Chromebook 20 台を貸し出している。

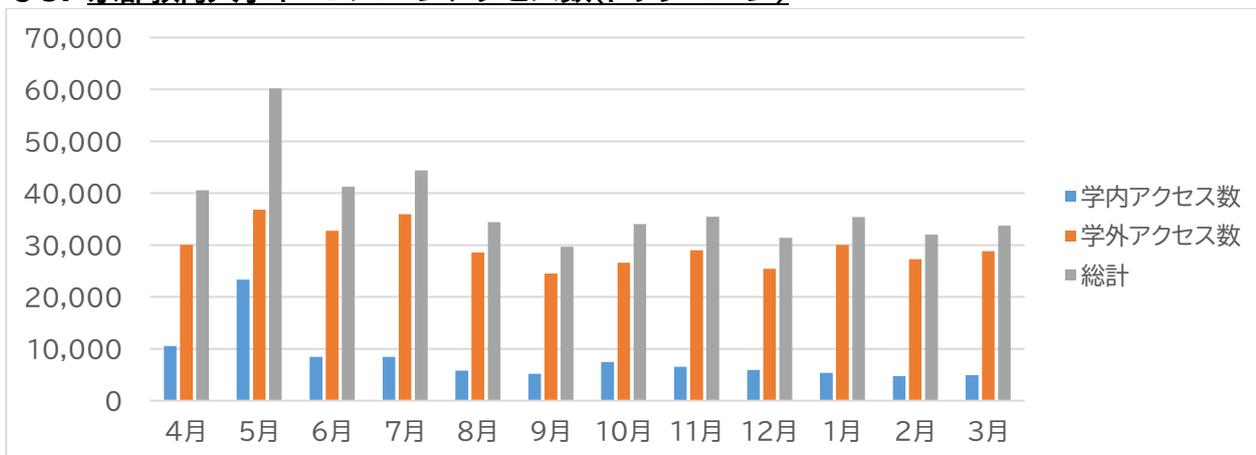
月ごと機器利用延べ台数 (台)

2023 年 4 月	38	2023 年 10 月	254
2023 年 5 月	414	2023 年 11 月	170
2023 年 6 月	258	2023 年 12 月	160
2023 年 7 月	101	2024 年 1 月	171
2023 年 8 月	60	2024 年 2 月	0
2023 年 9 月	0	2024 年 3 月	3

(2) 館内貸出

カード R/W 0 回 Mac キーボード&マウス 5 回  
 ポータブルブルーレイドライブ(データ用) 0 回 ブルーレイ・DVD 映像再生プレーヤー 3 回  
 ヘッドセット 0 回 ヘッドホン 0 回 マイク・web カメラ 0 回

§ 5. 京都教育大学ホームページアクセス数(トップページ)



2023 年度におけるトップページの学内からのアクセス数と学外からのアクセス数を示す。

本学のホームページは、セキュリティ上、学内からのアクセス用と、学外からのアクセス用を区別して別サーバに格納している。両者の内容は、毎日自動的に学内から学外へコピーされるので全く同じである。

## § 6. 学内一括送信配信数

本学では学内教職員、学生に対して周知の迅速化及び徹底化を図るため、周知内容を各部局から情報化推進委員会に依頼し、区分ごとに電子メールで送付する一括送信サービスを行っている。2023 年度に依頼された区分ごとの一括送信数は以下の通りである。依頼元は主に学内委員会、事務局、附属センターである。なお、一括送信システムの更新を行い、2019 年度より区分の設定が柔軟に行えるようになった。2022 年度から新区分として「S.大学非常勤講師一括送信」を追加した。

区分	件数
A.全構成員一括送信	97
B.全教職員一括送信	41
C.全教員一括送信	4
D.大学教員一括送信	61
E.附属教員一括送信	5
F.職員一括送信	5
G.全学生一括送信	39
H.学部生一括送信	0
I.院生一括送信	1
J.教職院生一括送信	0
K.特専生一括送信	0
L.(D.大学教員一括送信)+(E.附属教員一括送信)	10
M.(D.大学教員一括送信)+(F.職員一括送信)	7
N.(D.大学教員一括送信)+(E.附属教員一括送信)+(F.職員一括送信)	14
O.(D.大学教員一括送信)+(F.職員一括送信)+(G.全学生一括送信)	15
P.(D.大学教員一括送信)+(G.全学生一括送信)	4
Q.(D.大学教員一括送信)+(E.附属教員一括送信)+(F.職員一括送信)+(G.全学生一括送信)	4
R.専任大学教員一括送信	7
S.大学非常勤講師一括送信	2
	316

## § 7. インターネット配信

動画ストリーミング配信システムにより、学内の主な行事を動画配信している。インターネット配信のページは本学のホームページから開くことができる。2023 年度に配信した学内行事を以下に示す。

2023 年 4 月 7 日 入学式

2024 年 3 月 25 日 卒業式

情報処理センター利用授業時間割表（2023年度前期）

		月	火	水	木	金
1 限	1 室	情報機器の操作(a) 浅田 瞳		情報メディアの活用(a) 西尾 純子	情報機器の操作 (e) 多田 知正	電子計算機 川原田 茜
	8:45 2 室	情報機器の操作(a) 浅田 瞳		情報メディアの活用(a) 西尾 純子	情報機器の操作 (e) 多田 知正	電子計算機 川原田 茜
	10:15 3 室			現代産業技術 赤井 淳嗣		
2 限	1 室	情報機器の操作(b) 浅田 瞳		情報機器の操作(g) 伊藤 伸一		
	10:30 2 室	情報機器の操作(b) 浅田 瞳		情報機器の操作(g) 伊藤 伸一		
	12:00 3 室	製図(7/3~) 赤井 淳嗣				
3 限	1 室	情報機器の操作(C) 川原田 茜				
	12:50 2 室	情報機器の操作(C) 川原田 茜				
	14:20 3 室	スポーツ情報論 図子浩太佑				コンピュータグラフィック ス 宇澤 美貴
4 限	1 室	情報機器の操作(d) 伊藤 伸一	情報機器の操作 (f) 多田 知正			数理・データサイエ ンス・AI 多田 知正
	14:35 2 室	情報機器の操作(d) 伊藤 伸一	情報機器の操作 (f) 多田 知正		教育心理学実験 II 田爪宏二/赤松大輔	教育心理学実験 I A 田爪宏二/赤松大輔
	16:05 3 室	教育統計学演習 II 赤松 大輔	プログラミング基礎 II 川原田 茜			コンピュータグラフィック ス 宇澤 美貴
5 限	1 室					
	16:20 2 室				教育心理学実験 II 田爪宏二/赤松大輔	教育心理学実験 I A 田爪宏二/赤松大輔
	17:50 3 室					コンピュータグラフィック ス 宇澤 美貴
6 限	1 室					
	2 室					

情報処理センター利用授業時間割表（2023年度後期）

		月	火	水	木	金
1 限	1 室			公立学校等訪問演習（体 育） 岡田 雄樹		
	8:45 ～ 10:15	2 室		公立学校等訪問演習（体 育） 岡田 雄樹		
		3 室				
2 限	1 室		中等数学科教育Ⅳ 柳本 哲	専攻基礎セミナー（体 育） 岡田 雄樹		生活情報処理 権 眞煥
	10:30 ～ 12:00	2 室	中等数学科教育Ⅳ 柳本 哲	専攻基礎セミナー（体 育） 岡田 雄樹		
		3 室				
3 限	1 室	化学基礎実験(a)10/16 (月)のみ 向井 浩				
	12:50 ～ 14:20	2 室				
		3 室				
4 限	1 室	化学基礎実験(a)10/16 (月) のみ 向井 浩	プログラミング基礎Ⅰ 川原田 茜		教育統計学演習Ⅰ 西山 慧	学校教育と生活工学 権 眞煥
	14:35 ～ 16:05	2 室	プログラミング基礎Ⅰ 川原田 茜			学校教育と生活工学 権 眞煥
		3 室	バイオメカニクス (10/23,12/18のみ(予 定)) 小山 宏之			教育心理学実験ⅠB 田爪宏二/赤松大輔
5 限	1 室		情報メディアの活用(b) 西尾 純子			
	16:20 ～ 17:50	2 室	情報メディアの活用(b) 西尾 純子			
		3 室	情報メディアの活用(b) 西尾 純子			教育心理学実験ⅠB 田爪宏二/赤松大輔
6 限	1 室	教育実践研究セミナー 田爪 宏二				
		2 室				
		3 室				

## 2023年度集中講義など

授業名	教員名	端末室	集中日程
学校図書館司書教諭講習 「情報メディアの活用」	今野 創祐	1・2・3	8/9 (水) ,8/10 (木) ,8/17 (木) , 8/18 (金) 9:00~17:15
教育方法・ICT活用論	井上 えり子	1・2	7/25 (火) 2限
日本語アカデミックスキル	上田安希子	3	5/24 (水) 3~4 限, 5/31 (水) 3~4限, 6/7 (水) 3限, 6/14 (水) 3~4 限, 6/28 (水) 3~4限 7/5(水) , 7/12 (水) , 7/19 (水) , 7/26 (水) 3~4 限, 8/2 (水) 3~4限
タイ短期研修 (研修レポート作成)	岡田 雄樹	1	7/14 (金) 2,3限 7/18 (火) 1, 2限
情報基礎実験	多田 知正	3	2/13 (火) 1~4限
情報基礎実験	飯間 等	1	11/15 (水) , 11/29 (水) 3~6限

## 2023 年度 IPC NEWS の発行状況

2023 年度は、IPC NEWS No.318(2023 年 4 月 3 日)から No.328(2024 年 3 月 1 日)まで合計 11 回発行しました。これらのニュースでは、各月の行事予定について利用者に知らせるとともに、計算機利用、ネットワーク利用についての様々な学内への情報提供を行なっています。

各月の主だった内容は以下の通りです。(行事予定、前月の再録は省いてあります。)

### No.318 入学式の映像配信について

研究室 PC のネットワーク接続について

情報機器の引き継ぎ(情報漏洩の防止)について(教職員)

Web メールおよび KUE Cloud の学外からの利用時の二要素認証必須化について

館内への飲食物持ち込み禁止について(再掲)

各種申請について

指導員補助員募集のお知らせ

本学におけるメール統計(2023 年 2 月までの集計)

情報処理センター端末室利用統計(2023 年 2 月までの集計)

情報処理センター利用授業時間割表(2023 年度前期)

### No.319 【注意喚起】メールの転送設定について

端末室パソコンで Google Classroom にログインできない場合の対応について

貸し出し機器について

本学におけるメール統計(2023 年 3 月までの集計)

情報処理センター端末室利用統計(2023 年 3 月までの集計)

### No.320【予告】停電に伴う学内ネットワーク及びシステムの停止について

無線 LAN アンケートの常設について

利用者ガイド記載内容に関するご質問について

本学におけるメール統計(2023 年 4 月までの集計)

情報処理センター端末室利用統計(2023 年 4 月までの集計)

### No.321 後期の端末室授業利用申請の変更、修正について(教員)

自然災害等による臨時休館について

KUE WiFi の通信速度について

本学におけるメール送受信数データ(2023 年 5 月までの集計)

本学におけるウィルス発見件数(2023 年 5 月までの集計)

### No.322 機器やソフトウェアの使用方法に関する質問について

本学におけるメール送受信数データ(2023 年 7 月までの集計)

本学におけるウィルス発見件数(2023 年 7 月までの集計)

### No.323 情報処理センター年報の発行について

Google ドライブの保存容量の制限について

端末室1のスクリーンの電動化について

本学におけるメール送受信数データ(2023 年 8 月までの集計)

本学におけるウィルス発見件数(2023 年 8 月までの集計)

情報処理センター利用授業時間割表(2023 年度後期)

### No.324 2024 年度授業利用申請について

2024 年度指導員募集のお知らせ

退職・転職する教職員のメールアドレス削除について

本学におけるメール送受信数データ(2023 年 9 月までの集計)

本学におけるウィルス発見件数(2023 年 9 月までの集計)

### No.325 入館時の玄関マット使用について

本学におけるメール統計(2023 年 10 月までの集計)

情報処理センター端末室利用統計(2023 年 10 月までの集計)

- No.326 端末室利用時の寒さ対策ならびに感染症予防について  
本学におけるメール統計(2023年11月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2023年11月までの集計)
- No.327 来年度授業利用申請の変更, 修正について(教員)  
[予告]来年度以降の非常勤講師の照会について  
退職・転職する教職員のメールアドレス削除について  
年度替わりに伴うメールアドレスの取り扱いについて  
本学におけるメール統計(2023年12月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2023年12月までの集計)
- No.328 卒業式、入学式の映像配信について  
Googleドライブを用いた学外とのファイルのやり取りについて  
来年度以降の非常勤講師の照会について  
本学におけるメール統計(2024年1月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2024年1月までの集計)

## 2023 年度行事日誌

2023 年

- 4月3日 IPC NEWS No.318 発行
- 4月6日 新入生のための学内ネットワーク利用講習会
- 4月7日 入学式インターネット配信, 新入生オリエンテーション
- 4月19日 4月運用担当者会議
- 4月20日 富士通との定例会議
- 5月1日 IPC NEWS No.319 発行
- 5月11日 大学ICT推進協議会 2023 年度通常総会(オンライン)
- 5月17日 5月運用担当者会議
- 5月24日 運営委員会
- 5月31日 富士通との定例会議
- 6月1日 IPC NEWS No.320 発行
- 6月21日 6月運用担当者会議
- 6月22日 富士通との定例会議
- 6月29日 第20回国立大学法人情報系センター協議会総会(オンライン)
- 7月3日 IPC NEWS No.321 発行
- 7月24日 7月運用担当者会議
- 7月31日 富士通との定例会議
- 8月24日 8月運用担当者会議
- 8月31日 富士通との定例会議
- 9月1日 IPC NEWS No.322 発行
- 9月14日~9月15日 第34回情報処理センター等担当者技術研究会(北見工業大学)
- 9月19日 9月運用担当者会議
- 9月20日 9月運営委員会
- 9月28日 富士通との定例会議
- 10月1日 年報発行
- 10月2日 IPC NEWS No.323 発行
- 10月23日 10月運用担当者会議
- 10月27日 富士通との定例会議
- 11月1日 IPC NEWS No.324 発行
- 11月27日 11月運営委員会
- 11月27日 11月運用担当者会議
- 11月30日 富士通との定例会議
- 12月1日 IPC NEWS No.325 発行
- 12月13日 大学ICT推進協議会2023年度年次大会 CIO 部会会議, 講演会(オンライン)
- 12月18日 12月運用担当者会議
- 12月19日 富士通との定例会議
- 12月29日~2024年1月4日 12:00 冬季休館

2024 年

- 1月4日 IPC NEWS No.326 発行
- 1月16日 1月運営委員会
- 1月23日 1月運用担当者会議
- 1月26日 富士通との定例会議
- 2月1日 IPC NEWS No.327 発行
- 2月19日 2月運用担当者会議
- 2月28日 富士通との定例会議
- 3月1日 IPC NEWS No.328 発行
- 3月18日 3月運用担当者会議

3月25日 卒業式インターネット配信

3月27日 富士通との定例会議

※3月運営委員会は会議を開かず資料共有のみとしました

情報処理センター関連委員会等歴代委員

	氏名	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
◎委員長(センター長)□(次長) 運営委員会	多田 知正	◎	◎	◎	◎	◎
	権 眞煥		□	□	○□	□
	高嶋 隆一	○	○			
	牛山 道雄	○	○			
	丹下 裕史	○	○			
	比良 友佳理 (2022年11月30日まで)			○		
	武島 良成 (2022年12月1日~)			○	○	
	山口 博明			○	○	
	小松崎 敏					○
	オーバーマイヤー・ アンドリュウ					○
	中峯 浩					○
事務局	金森 悠一	○	○	○	○	○
	五十嵐 誠	○	○	○	○	○
	高木 亜里子	○	○	○	○	○

## 編集後記

令和 4 年 11 月に OpenAI 社が公開した ChatGPT は、公開からわずか 2 か月で月間ユーザー数が 1 億人を超え、また文章だけでなく、画像や音声の生成も可能な AI が普及するなど、生成 AI の開発と活用が急速に進展しています。政府はこれまで、「人間中心の AI 社会原則」を通じて、AI に対する基本戦略や理念を明示してきました。生成 AI を含む AI の利活用は、利便性や生産性の向上、そして社会に前向きな変革をもたらす可能性を秘めています。しかし一方で、AI の信頼性や誤用・悪用に対する懸念やリスクも存在しており、これらの懸念とリスクに適切に対応し、バランスを取りながら活用していく必要があります。

文部科学省をはじめ各大学において「生成 AI 利用に関するガイドライン」が制定されています。本学は生成 AI 利用に関する大まかな方針は定まっていますが、まだガイドラインが制定されていません。生成 AI を扱う授業も既に始まっているため、ガイドラインの制定を急ぐ必要があると思われます。生成 AI は、多様な質問に対して人間が自然に感じるような応答を返すことができるため、大学の研究、教育、業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)のための有用なツールになると期待されています。2024(令和 6)年度国立大学法人情報系センター協議会の統一テーマは「教育と業務における AI 利用の現状と問題点」であり、協議会では開催校である神戸大学の取り組みが紹介されました。神戸大学は、無料の生成 AI サービスに加えて、有料の生成 AI サービスを導入することを検討しています。また、全学共通科目で生成 AI を活用した教育が始まっており、業務面では DX 推進部門での活用を中心に様々な工夫や検討がなされていました。特に、商用生成 AI サービスである ExaBase の導入や DX による具体的な課題解決の推進として「DX プロジェクト」、DX の最新動向に触れ、体験する場である「プレイグラウンド」などのサポートが進んでいます。

無論、生成 AI が返す回答は必ずしも正確である保証はなく、質問に個人情報や機密情報が含まれる場合、それが学習に利用される可能性があるため、情報漏えいのリスクも存在します。また、教育においては生成された回答がそのままレポートなどに使われる可能性があることをどのように捉えるかなど、利用に際して考慮すべき課題が多々あります。しかし、社会における生成 AI の利用はさらに拡大し、もっと身近なものになるでしょう。本学も教育や業務における生成 AI の効果的な利用について検討を進める必要があるかと思えます。特に、大学だけでなく、附属学校での活用も検討の余地があり、内容としては事務職員における業務の時短や教員における授業準備や授業中での活用、個別最適学習や協働学習への実践などが考えられます。本学も教育・研究における業務の効率化と質の向上に寄与する DX の実現に向けて前向きに取り組んでいけたらと考えます。

多田 知正 権 眞煥  
金森 悠一 五十嵐 誠 高木 亜里子

情報処理センター年報 2023 年度

2024 年 10 月 1 日発行

発行所 国立大学法人京都教育大学  
情報処理センター  
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1